ニコニコ箱

渡辺和男さん、クリスマス例会の写真ありがとうございました。
（清水則明）
来週から携帯電話が 090-2121-4444 に変わります。お手数ですが訂正お願いします。（須賀原和広）
所用につき、早退します。（菅原将高）
災害対応も一段落しました。やっと例会に出席出来ました。
（塚本　明）
実家の 49 日が済みました。（山内鴻之祐）
昨日はありがとうございました。（渡辺和男）
嘉屋次郎
【皆出席御祝】片岡正明
皆出席御祝 / 意識していない中、皆出席 2 年が達成出来て嬉しいです。（寺本光宏）
【誕生日御祝】江守康昌・小森富夫・澤田悟恵・滝本光男・橋本泰久・長谷川智洋
誕生日御祝 / 50 歳を過ぎると誕生日もあまりうれしくなくなってきますが、ジョギングなどをして若さと健康を保っていきたいと思ってます。（島田康隆）
【配偶者誕生日御祝】小森富夫・専田武志・滝本光男・竹澤文孝
配偶者誕生日御祝 / 大阪で留守を守る妻に感謝。（小川博章）
配偶者誕生日御祝 / いつも感謝です。（加藤信一）
配偶者誕生日御祝 / 平和な世界を築こう。（清水慶造）
【結婚記念日御祝】山岸恒一
結婚記念日御祝 / お陰様で 49 周年です。（片岡正明）
結婚記念日御祝 / 本日 16 時 30 分からＦＢＣで私、中田が「社長のシン」というコーナーで放映されます。お時間のご都合がつく方はぜひご覧ください。（中田善弘）
結婚記念日御祝 / いつまで仲良く。（柳町剛弘）
各　君

幹事報告

幹 事　角谷 恒彦

1. 本日お渡ししております「ガバナー月信 2 月号」6 ページに 2026-27 年度に平野ガバナーが決定された記事が掲載されております。ご確認ください。
2. 本日、確定申告用の寄付金の領収書をお渡ししています。再発行はできませんので、失くさないようにお願いします。
3. 能登半島地震災害支援の義捐箱を回しますのでご寄付をお願いいたします。
4. 本日、例会終了後、理事会を行います。理事会の会場は 4 階クリスタルです。参加される理事役員皆さま、よろしくお願いいたします。

委員会報告

ロータリー情報委員会　清水 則明 委員長

今年度 3 回目の炉辺会談を実施致します。昨日、座長と世話役を事務局からお願いしていると思いますのでお引き受けをお願いします。テーマは「地震への備え」としたいと思います。

1 月 1 日に能登半島地震が発生し甚大な被害がもたらされた訳でありますが、地震で亡くなられた方、被災された方にはお気の毒ではありますが、明日は我が身でありますので、今回の地震を教訓にすることが大事ではないかと思っております。現在地震対策で会社や地域で実施されていることを話あっていただくとか、今後こういう風にやっていくということがあれば話あっていただければと思います。天災は忘れたころにやってくるという言葉もあります。地震のショックが消えない今、話し合っておけば万が一の時に少しでも役に立つのではないかと思います。

いつも通り、班割の都合が悪いようであれば他の班への参加でも結構ですので、積極的な参加をお願いしたいと思っております。

ロータリー財団増進特別寄付金

福井財務事務所 財務課長 前田様、卓話よろしくお願いします。先週、野村 R 財団理事の話がありましたので寄付いたしました。
（吉田清二）
福井にはまだ積雪のあとがありますね。三国には見たくてもありません。食べ物は美味しい三国に住みませんか。（宮﨑茂和）
わずかでも世界の役にたちますように。（出雲路康照）
先週末、2 日連続で財団セミナー、RLI パート Ⅲ に参加してきました。（上田祐広）
世界の平和を希求して。（片岡正明）
今日もロータリー財団の寄付、ありがとうございます。
（桑原慎治）
久しぶりの乾杯でした。挨拶は短く、幸せは長く !!（佐々木知也）
今日もロータリー財団への寄付をお願いいたします。
（野村直之）
伊井彌州雄
各　君

米山奨学特別寄付金

アクト留学生の語り合う会で談笑出来ました。謝さん、ありがとう。（片岡正明）
米山奨学会、よろしく。（北島　恬）
①謝さん、ローターアクトボランティア活動は楽しませていただきました。②渡辺和男会員、昨日は黄綬褒章受章と現代の名工受章の祝賀パーティーにお招きいただきありがとうございました。（玉木　洋）
少しでもお役にたてれば。（辻橋清和）
今日、朝から良いことがありましたので。（中山浩成）
ローターアクトとしても立派に成長された謝さんのご挨拶をお聞きして。（野村直之）
卓話ありがとうございました。（畑下徳洋）
2 月に入りました。今月も頑張りましょう。（堀内康代）
2 月に入りました。多くの会員様と交流できますように。
（吉岡正盛）
能登地震に励ましのお声がけいただきありがとうございます。明日、1 日早いですが福井の私立幼稚園に恵方巻用の海苔を寄贈させていただきます。（渡辺崇嗣）
大森正男・髙橋宏幸・山岸恒一・渡邉義信
各　君

寄付金の状況

	2月1日分	累　計	目　標
ニコニコ箱	74,000円	1,581,000円	3,000,000円
ロータリー財団	21,000円	2,418,500円	4,095,900円
米山奨学金	30,000円	1,337,650円	2,540,000円

ありがとうございました。

事務所　〒910-0006 福井県福井市中央1丁目3番1号加藤ビル5階 TEL：0776-25-0633　FAX：0776-24-8622
例会場　ザ・グランユアーズフクイ3F　TEL：0776-24-3200　例会 毎週木曜日12：30～13：30
クラブ会報委員会　委員長：小野田　亮　副委員長：村田 長隆
委員：竹生 知子・佐竹　新・柳町 剛弘・竹澤 文孝・専田 武志・吉岡 正盛
ソングリーダー♪：木村 憲一　サブリーダー♪：北島　恬・野尻 章博・竹生 知子・山本 晃司・辻橋 清和・西岡宏二郎・柳町 剛弘・澤田 悟恵
ホームページ　http://www.fukui-rotary.com/　E-mail info@fukui-rotary.com
創立　1950年（昭和25年）10月15日　RI承認　1950年（昭和25年）12月4日（承認 № 7647）

現在会員数 132名

ROTARY CLUB of FUKUI
福井ロータリークラブ会報
Rotary 福井ロータリークラブ
R.I. District 2650 2023-2024 Weekly Bulletin
2024 年 2 月 8 日　第 2618 号（創刊 2774 号）

《2023-2024年度 R.I. テーマ》
世界に希望を生み出そう

クラブテーマ：RC活動を復帰し更に発展すべく会員絆の再構築を

地区スローガン：ロータリークラブに活力と輝きのある希望を生み出そう !!!

R.I. 会長　ゴードン R. マッキナリー
R.I. 第2650地区ガバナー　中野 博美

理事				監事	役員補佐	
会長	吉田 清二	クラブ奉仕	片岡 正明	監事 藤井 健夫	副幹事	清水 盛伸
副会長	上田 祐広	職業奉仕	斎藤 英夫	監事 山内鴻之祐	副会計	松田 将裕
直前会長	荻原 昭人	社会奉仕	奥村 隆司	パストガバナー	副会計	滝本 光男
幹事	角谷 恒彦	国際奉仕	堀内 康代	宮﨑 茂和	副会場監督	鷲田 泰紀
会計	初瀬川達郎	青少年奉仕	萬谷 光司	ガバナーノミニー	副会場監督	中山 浩成
会場監督	岩崎 新	ロータリー財団	野村 直之	平野 洋一		

2 月は「平和構築と紛争予防月間」です。　－未来へつなぐロータリーと共に人と人との関わりは平和構築の原点。－

本日の例会　2024年2月8日　第3569回

12 時 30 分　開会点鐘

会長挨拶

委員会報告・幹事報告・その他

ゲスト卓話

（㈱福井ブローウィンズ 代表取締役　湯本 眞士様）

13 時 30 分　閉会点鐘

今後の予定

- 2月15日(木)
  会員卓話(吉岡 正盛 会員)
- 2月22日(木)
  休　会
- 2月29日(木)
  クラブフォーラム/
  委員会卓話
  (青少年奉仕委員会
  寺本 光宏委員長)
- 3月 7日(木)
  栄誉行事/米山奨学金授与/
  卓話

会長挨拶

2023-24 年度 会 長
吉田 清二

「節分」

2 月の第一例会です。本日は栄誉行事がありますので " 健康に関するミニ情報 " は休みます。

2 月は旧暦の和風呼びで、" きさらぎ " と呼び、きさらぎの月とは、まだ寒さが残る日と暖かな日が交互におとずれ寒い日には衣を重ね着する（更に着る）日のある月と言う意味ですが、春はもうすぐと言う意味にもとれ、寒い月ではありますが希望が感じられる月です。

ご存じの様に 2 月 3 日（土）は節分の日で、2 月 4 日は立春です。節分には恵方巻を食べます。恵方巻には、七福神にあやかって 7 種類の具材を巻き込むのが一般的です。「長生きできるように」という意味をもつ干ぴょうや「金運」を意味する伊達巻など、特別な意味を持つ具材が入ります。恵方巻きが誕生したのは、江戸時代から明治時代にかけてと言われています。起源は諸説ありますが、大阪の商人が商売繁盛を祈願し、節分に巻き寿司を食べたのがはじまりという説が有力のようです。恵方巻を食べる際は、おしゃべりをしながら食べる方が多いですが、本当はよそ見をせずその年の恵方を向き続け一気に食べるというルールがあります。神仏にお願いをしながら黙って食べましょう。恵方巻をルール一通り食べ福を呼び込みご利益をえましょう。

因みに今年の恵方は東北東、との事お間違いのないようにお願いいたします。

次回の例会　2024年 2月15日(木)
■ 会場：ザ・グランユアーズフクイ
■ 会員卓話 (吉岡 正盛 会員)
■ 開会点鐘：　12時30分
■ 閉会点鐘：　13時30分

2024年 2月1日　第3568回

出席報告	
● 現在会員	132名
● 出席者	74名
● 欠席者	49名
● 出席免除者欠席	9名
● 今回例会出席率	60.1%

例会修正出席率	1月11日
● メークアップ	24名
● 欠席者	23名
● 修正出席率	82.0%

●メークアップ　　渡邉義信(1/19 地区 会員増強・拡大委員会)、玉木　洋、平田　制、清水則明、髙橋宏幸、藤井健夫(1/31 福井北)、島田康隆(1/31 勝山、2/1 敦賀西)　　各　君

例会報告

米山奨学金　授与

2023学年度　米山奨学生　謝　燕琴さん

2023学年度　米山奨学生謝　燕琴さんに吉田会長より奨学金の授与がされました。

栄誉行事

皆出席御祝

片岡 正明会員　(37年)
林 洋三会員　(2年)
寺本 光宏会員　(2年)

誕生日御祝

江守 康昌会員・橋本 泰久会員・澤田 悟恵会員・椿原 徹也会員
鷲田泰紀会員・清水 嗣能会員・西澤 雄三会員・稲田 朋美会員
滝本 光男会員・小谷 哲治会員・長谷川 智洋会員・鍋屋 昌明会員
小森 富夫会員・島田 康隆会員

結婚記念日御祝

中田 善弘会員・小谷 哲治会員・長谷 美左子会員
石橋 正人会員・片岡 正明会員・登谷 大修会員
山岸 恒一会員・荻原 昭人会員・鷲田 泰紀会員
椿原 徹也会員・柳町 剛弘会員

配偶者誕生日御祝

専田 武志会員・橋本 一也会員・小川 博章会員・竹澤 文孝会員
野路 純平会員・加藤 信一会員・滝本 光男会員・宇野 良二会員
木下 勝元会員・小森 富夫会員・椿原 徹也会員・八木 信二郎会員
清水 慶造会員

ゲスト卓話

北陸財務局　福井財務事務所
企画課長　前田 雅城様

本日は貴重な機会をいただき感謝。

当所は、財務省・金融庁の出先機関として財務・金融行政のほか経済調査も行っているところ、皆様からは日ごろ多大なるご協力をいただいており、この場を借りて御礼申し上げる。本日は、大きく2点、県内経済の話と、北陸新幹線の話。

まずは、福井県内経済の特徴。

地域経済をみる主な指標は、生産活動、個人消費、雇用情勢。

生産活動については、皆様ご承知の通りモノづくりが盛んな県。鉱工業生産指数でみると、第一位が「電子部品・デバイス」、全国と比べても突出しており、第二位は「繊維」、第三位が「化学」で、この上位3つで50%弱。次いで「プラスチック」、「輸送機械」、「非鉄金属」と続き、「眼鏡枠」も6%強を占める。

地場産業である「繊維」「眼鏡枠」は、産地としての規模は縮小してきているが、新たな分野への挑戦を続けながら、競争力を高めて生き残っている、今後も福井において重要な産業。

個人消費の特徴としては、主要5業態（百貨店スーパー、コンビニ、ドラッグストア、ホームセンター、家電量販店）のうち、「ドラッグストア」が全体の3割を占める。R5年トータルでは、「ドラッグストア」販売額が「百貨店・スーパー」販売額を上回る見込み。北陸のドラッグストアの特徴としては、広い敷地や店舗面積を活用して食料品を強化、低価格戦略とも相まって消費者ニーズをとらえ、店舗数は増加を続けている。

雇用情勢の特徴としては、有効求人倍率が（ほぼ）毎月全国1位。ただし、求人倍率が高いことは人手不足の裏返しでもある。加えて福井県では、少子高齢化が全国と比べても進んでおり、若者の流出も相まって労働力の中心となる世代がどんどん高齢化している、という問題も。

福井県内の経済情勢について。

当所では、四半期ごとに県内経済について分析し、その結果を公表している。これまでの総括判断を時系列でみると、R2年の4月期に、新型コロナの蔓延を受けて経済が大きく落ち込み、そこから少しずつ上昇を続け、前々回（R5年7月）と前回（R5年10月）は2期連続で上方修正していた。最新のR6年1月期の情勢報告は本日（2/1）公表したところ、能登半島地震を受けて前例のない内容となった。

今回の全体総括は「令和6年能登半島地震前は、持ち直していたが、現時点では、まずは地震による地域への影響全体について十分に把握する必要がある。」としている。つまり、能登半島地震の前後で局面が大きく変わったが、何がどの程度変化したのか、正確に把握できる状況にないため、前回判断との比較は見送り、まずは実態把握が必要、としたもの。

では、地震前はどうだったか、項目ごとに説明したい。

個人消費については、「（令和6年能登半島地震前は）緩やかに回復」とし、10月判断から据え置き。

昨年5月のコロナ5類移行により、人の移動が活発に、イベント等も通常開催となり、主要観光地の来訪客数も増えたことから、小売業態では飲食料品を中心に売上が伸び、百貨店・スーパー、コンビニ、ドラッグストアなどがプラス基調を維持。新車販売台数についても、半導体不足からくる自動車減産が解消されて前年を上回って推移、といったことを踏まえ、個人消費については「緩やかに回復」としている。なお、主要温泉地の宿泊客数は、前年に県による旅行支援施策があったことから、その反動で前年を下回った。

生産活動については、「（令和6年能登半島地震前は）緩やかに持ち直しつつある」とし、10月判断から上方修正。

その要因としては、ウェイトの高い電子部品デバイスについて、しばらく生産水準を落としていたところ、足元、スマートフォン向けの受注が増加に転じたことなどから持ち直しつつある、と上方修正したことが大きい。また、繊維では、衣料向けが堅調、カーシートなど非衣料向けが好調に推移。ただ、眼鏡については、国内・海外とも需要は旺盛であるが、人手不足で生産が追い付かず、といった声も聞かれる。

他方、海外景気の減速で設備投資関係の需要が減少し、化学は足踏み。国内の住宅着工戸数の減少などもあってプラスチックは弱含み。

雇用情勢については、「（令和6年能登半島地震前は）持ち直している」とし、10月判断から据え置き。

有効求人倍率は1倍を大きく上回る水準で推移。新規求人は、眼鏡や自動車関係、宿泊業などを中心に前年を上回っている。

なお、当事務所で実施している景気予測調査において従業員の過不足感についても調査しているが、昨年10-12月期調査では、業種別でも規模別でも、全てのカテゴリで、かつ高い水準で不足気味との結果に。特に、建設、運輸、小売り、宿泊・飲食サービスなどで不足感が強い結果となった。企業への聞き取りによると、人手不足への対策として、製造業では、マルチタスク化を進めたり、AIを活用したり、人が集まらない前提での取組を進めているほか、非製造業では、アプリを活用した短時間アルバイトの募集や、外国人の積極採用の方針、などの取組が見られる。以上が地震前の状況である。

1/1の能登半島地震の影響について。

福井県内でも、あわら市などで公共施設や住宅などに被害を受けたが、石川県や富山県に比べれば小さい。県内企業から聞き取りを行った結果でも、建物等に損傷は受けたが営業や生産を継続するうえでは支障がないなど、直接被害は限定的だったと考えている。

ただし、宿泊キャンセルや観光客の減少、被災地からの供給が滞るなどといった影響が一部で見られており、これからは代替生産や復旧資材の需要増加といった動きも出てくると見込まれ、それら様々な要因を含め、今後、地域経済全体への影響を注視していく必要。

話題変わり、北陸新幹線について。

北陸新幹線延伸が、3月16日敦賀開業。東京から福井県内への所要時間は、約3時間と、大幅に短縮。福井から東京まで、沿線地域の人口を合計すると3000万人超。ストロー効果による人口流出を懸念する声も聞かれるが、人口比からすれば、プラス効果の方が大きいのではないか。新たな都市圏ネットワークの形成により、観光・ビジネスにおける域内交通の活性化に期待。

県内企業の期待感はどうか。

県内企業の景況感を当事務所で実施している景気予測調査（R5.10-12月期調査）でみると、県内企業の現状判断としては、非製造業を中心に、前四半期より景気は良くなっているとの結果。理由は、コロナ5類移行後、宿泊、飲食、陸運業などのサービス業を中心に客数増加などがみられたことであるが、先行き、次の四半期以降の見通しについても、新幹線延伸の効果でサービス業を中心に景況感は上昇の見通しとなっている。非製造業について、石川県・富山県と比べると、福井県の期待値は高く、新幹線延伸の影響とみている。

ただ、これは能登半島地震前の調査結果であるため、次回、3月中旬に発表となる調査結果に注目したい。

観光振興における課題を2つ。

一つ目は、県内の宿泊客数。観光庁の公表データでみると、石川県・富山県が足元コロナ前まで戻りつつあるのに比べ、福井県は戻りが弱い。また、宿泊者のうちの外国人数が、福井県は圧倒的に少ない。全国で見ても下から2番目くらい。

二つ目は人手不足の常態化。新規求人数でみると、人手不足がいわれる運輸、宿泊、飲食のなかでも、特に宿泊業の人手不足感が強いと思われる。企業からは、新幹線延伸で観光客が増えても、人手が足りず期待に見合うサービスを提供できない怖れがある、といった声も聞かれている。

そうした課題に対する官民の取組について。

宿泊施設については、質と量の強化が進んでいる。例えば新幹線開業に併せて福井駅前に外資系のホテルが開業したり、先日は坂井市にオーベルジュがオープンなど、富裕層にも訴求力の高い宿泊施設の開業が相次いでいる。また、あわら市やおおい町ではビジネスホテルが開業し、多様な層に対し、多様な受け皿の用意が進んでいる。宿泊に関しては、今後、統計にどのように表れてくるか、震災の余波も含め注目したい。

また、二次交通の多様化について。

タクシーやバスの人手不足は容易に解決できないと思われるが、そうしたなか、観光施設への直行バスの運行開始、タクシーの配車効率を高めるためのアプリ導入、観光客自らレンタカーなどを運転するための環境整備など、多様なオプションを用意することで、分散と効率化を図っている。なかでもカーシェアは、運営側には店舗や人員を必要としない、利用者側には時間を気にせず利用できる、といった双方のメリットあり、今後普及の余地が大きい。

これだけで全て解決はしないとしても、様々な取組が進み、訪れる人の満足度に繋がっていくことが大事。

以上、まとめると、

・県内経済は、社会経済活動の正常化などを背景に持ち直していたところ
・能登半島地震による県内経済への影響は、現時点では未知数。観光産業等を中心に、十分注視していく必要あり
・北陸新幹線延伸が、他地域との結びつきを一層強くし、北陸地域全体の発展・復興に寄与することに期待

本日はありがとうございました。